

## 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	県立生田東高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制普通科
-----	-----------	------------------	--------

### 1 学校のミッション

○全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。また、生徒の多様な教育的ニーズに対応した支援として、「通級による指導」に取り組む。

○自主自律の精神をもち、自己の人生を開拓していく知性と行動力を備えた人材の育成をめざし、学校の教育活動全体を通じて、多様な学びの場を提供し、生徒の自主性を育む教育活動に取り組む。

○生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした授業を実践することにより、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びを実現するための不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

### 2 学校教育目標

1. 多様な学びの提供により、活かせる学力の育成と豊かな人間性や社会性を培う。
2. 自ら課題を発見し、解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高める。
3. 自主自律の精神と自己開拓力を育成する。
4. 教職員がチームで一丸となり、教育活動に全力で取り組み、生徒一人ひとりの進路実現を目指す。

### 3 計画策定時点での課題

- ・ICTを用いながら多様な学びの場を提供できるように学校全体で取り組んでいる。現状の取組を活かしながら、ICTの急速な発展やDXに対応するための機会や研修を充実させ、さらなる授業改善を目指す必要がある。
- ・豊かな人間性の育成のために部活動などの特別活動への加入を呼び掛けているものの、加入率が上昇しない。HR活動や生徒会活動など部活動以外の機会も充実させることが課題である。
- ・感染症の蔓延により地域との連携力が弱まってしまった。感染症の流行も収束したことで、再度地域との連携力を構築し、地域の教育力を活かした学びの機会の充実に努める必要がある。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	「探究する力」「自ら学びを調整する力」「協働する力」を育む  多様な学びの場を提供する	○「教科をチームに」を目標に、組織的な授業改善を行う文化を根付かせ、生徒に還元をする。 ○「すべての科目で常に」、特定の教科や教員に関わらず、効果的なICT教材を活用した授業を行う。 ○通級指導を通じ、多様性についての理解を深める。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	豊かな人間性・社会性を備え、「生きる力」を身に付けた人づくり	○通常の学校生活のみならず、学校行事や部活動を通して、人間的成長を促していく。 ○SC、SSWや外部機関と連携し、きめ細かな生徒指導・支援に取り組む。
3	進路指導・支援	進路発見と進路実現	○インターンシップや進路講演会等を通じて職業理解を深め、広い視点から進路を考える指導を行う。 ○生徒が自ら情報を収集し、より適切な第一志望を選択する能力を育成し、本来の進路希望を実現できる指導に努める。
4	地域等との協働	近隣の学校や地域の教育力を活用した学校づくり	○学校運営協議会、高大連携コンソーシアム事業等を通じ、地域や近隣中学校、大学などの上級学校と協働した教育活動を行う。 ○地域の行事や防災活動などに生徒が積極的に参加できるよう取り組む。
5	学校管理 学校運営	ICT機器を活用した「働き方改革」の推進  不祥事ゼロ運動の取組	○「Zoom」等オンラインを活用した会議の実施や、「Teams」を活用して校内業務の効率化を図る。 ○朝の打ち合わせや職員会議の際に、「Teams」を活用したテスト形式の研修を実施する。